



ブラウブリッツ秋田

「TDK×ブラウブリッツ秋田」子ども食堂支援 1/2

厚生労働省によると日本の子どもの貧困率は13.5%で、約7人に1人が貧困状態にあるといわれています。特に秋田県は子どもの栄養失調死率が高く、喫緊の課題となっております。このような社会課題に対しクラブのスペシャルスポンサーであるTDKとクラブは、秋田の子どもたちが健康で明るい未来を迎えられるように、秋田県内の子ども食堂を支援する活動を実施しました。具体的には、TDKの企業ブランドキャンペーングッズをホームゲーム会場で販売し、その売上金を全額活用して様々な形で子ども食堂を支援しました。



活動場所 ソユースタジアム、みらい工房(秋田市内の子ども食堂)



協働者

企業、NPO

協働者名

TDK株式会社、
 特定非営利法人秋田たすけあいネットあゆむ、
 秋田県社会福祉協議会、
 秋田ノーザンハピネッツ株式会社



協働者の声 特定非営利法人秋田たすけあいネットあゆむ/保坂 ひろみ 氏

秋田市内でこども食堂を運営していますが、コロナ禍のため集まって食事をするのが出来なくなり、弁当配布にて活動を継続してきました。様々な自粛を余儀なくされている中で、食堂がイルミネーション等で飾られ、さらにプレゼントをもらい、子どもたちが大喜び。冬の夜空に光るイルミネーションを笑顔で見つめていました。



活動詳細情報

1

[公式サイト①](#)

2

[公式サイト②](#)



カテゴリ(SDGs)/取り組みテーマ

1

貧困をなくそう



2



17



パートナーシップで
 目標を達成しよう



ブラウブリッツ秋田

「TDK×ブラウブリッツ秋田」子ども食堂支援 2/2

Story

■背景

秋田で子ども食堂を運営している秋田たすけあいネットあゆむ代表理事長の保坂さんにお会いし、県内の子どもの貧困に関する現状を伺いました。「秋田県は子どもの栄養失調死率が高い」「1日の食事が学校給食だけの子どもがいる」という現状に非常にショックを受けました。同時に、そのような社会課題に対し、クラブとして何かしなくてはいけないと強く感じました。そのような時に、TDKの広報担当者より若年層応援キャンペーン「(T)尖った(D)大胆さ(K)くれよ」とのコラボレーション企画をいただきました。そんな中で、上記の秋田県内の子供の

貧困の現状をお伝えしたところ、この課題の解決に取り組むことこそが若年層の応援に繋がるのではないか、という結論に至り、秋田の子どもたちが健康で、笑顔あふれる明るい未来を実現するための活動を行うこととなりました。

■実施内容

- ①ホームゲーム会場で同キャンペーンのグッズを販売し、その売上を全て子ども食堂運営団体に寄付しました。また売上以外にも多くの寄付が集まり総額284,866円となりました。これを県内7箇所の子ども食堂に配分し、食材費や食堂運営費などに活用いただきました。
- ②県内Bリーグチーム・秋田ノーザンハピネッツに協力を仰ぎ、3者で活動を行いました。両チームのホームゲームで同キャンペーンのグッズを販売、売上金及び寄付金を活用して両チームのグッズと沢山のお菓子が入ったクリスマスプレゼントを300名分、県内10箇所の子ども食堂に贈呈しました。さらに、贈呈先の1つである秋田たすけあいネットあゆむが運営する「みらい工房」にTDK硬式野球部と



両チーム選手が訪れ、プレゼントの贈呈式並びに特別クリスマスイルミネーションの点灯式を行いました。贈呈した選手は「子供達の幸せや地域の活性化は自分たちがスポーツをしている一つの意味だと思う。」と話しました。

